



記者発表資料

(県政)



提供年月日：令和7年(2025年)11月19日

部局名：文化スポーツ部

所属名：文化財保護課

係名：文化財活用推進・新文化館開設準備室

担当者名：大橋・澤野・田澤

連絡先(内線)：077-528-4681

新しい琵琶湖文化館のロゴ・シンボルマーク決定

2年後の令和9年(2027年)12月の開館を目指している新しい琵琶湖文化館について、このたびロゴ・シンボルマークが決定しましたので、お知らせします。

内容

滋賀県では、大津市浜大津において、令和9年(2027年)12月の新しい琵琶湖文化館の開館を目指しています。館の基本理念や新しいイメージを広く発信するため、ロゴ・シンボルマークのデザイン提案を募る公募型プロポーザルを実施し、審査の結果、下記のとおり決定しました。



滋賀県立
琵琶湖文化館

Biwako Bunkakan Museum

(1) ロゴタイプ(文字)

すっきりと読みやすく、普遍的で飽きの来ないデザイン

(2) シンボルマーク

上部：新しい琵琶湖文化館の外観をモチーフとした船の形状

…文化財を守る堅牢さと先鋭的な技術をイメージ

下部：手書きのような楕円

…人々や暮らしをつなぐ温かさや親しみやすさ、有機的な湖の水面をイメージ

(3) 色

「未来ブルー」と名付けた青色を採用。

滋賀県の雄大な自然を包む開放的な空と、その青を映す琵琶湖の湖面をイメージ。

濁りのない澄んだ青は、文化資産の未来のこどもたちへの継承と、滋賀の自然の持続可能性を象徴します。

(4) デザイナー

カイシトモヤ 氏（アートディレクター・グラフィックデザイナー）

株式会社 room-composite 代表取締役、東京造形大学デザイン学科グラフィックデザイン専攻領域教授。香港国際ポスタートリエンナーレ 2010 金賞ほか多くの広告賞を受賞。

(5) 受注者

AINZ株式会社

今後の予定

下記をはじめとする新しい琵琶湖文化館に関する広報等に、ロゴ・シンボルマークを使用します。

- プレサイト公開（11月21日（金））
<https://biwakobunkakan2027.jp/>
 - 開館2年前カウントダウンイベント開催（12月13日（土））
建設中の建物をひと足先にのぞき見し、滋賀ならではの文化に触れる体験を通して、新しい琵琶湖文化館の完成がもっと楽しみになる特別な一日をお届けします。
<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/event/347342.html>
 - 新しい琵琶湖文化館フォーラム開催（12月21日（日））
デザイナーのカイシトモヤ氏を招き、ロゴ制作への思いやデザインコンセプト等についてコメントをいただきます。
<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/event/347021.html>
- ロゴ・シンボルマークを生かした各種ツール（ステッカー、封筒など）のデザインを行い、開館に向けて機運を高めてまいります。

その他のプロジェクト

- クラウドファンディング開始（本日11月19日（水）～令和8年2月17日（火））
収蔵庫新設のため、目標金額1千万円を設定し、READYFORにて実施。
返礼品には、建物に設置する銘板へのお名前の掲載や、ワークショップ参加権などのメニューを用意しています。
<https://readyfor.jp/projects/shin-bunkakan>